

2022年9月13日発行

22-37号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**読書で自分発見**

読書の秋です。本を読むことによって、自分を発見したというマンガをTwitterで発信している人がいました。望月哲門（@Tetsuto1319）さんが、就活をきっかけに自分という人間が分からなくなったということをマンガに書いていました。

マンガの作者は、就活で必死に自分をアピールしていたそうですが、そのうち、自分が自分で分からなくなったそうです。その中でも、就職できたそうですが、不安だったので、マンガ、仕事、筋トレ、自己啓発、恋愛、家族・・・いっぱいがんばっていたら、疲れてしまったそうです。そんなある日、音楽が雑音にしか聞こえなくなって、自分が壊れるように思ったので、すべてがんばることを手放して、読書を始めたということです。本を読むと、自分の現実をシャットアウトできたので、とにかく、寝るときと仕事以外は、ずっと本を読んでいたということです。そこで、自分がなにかを考えるとき、すべて他の人との比較ではないかということに気づいたそうです。背が高い低いも、良い人悪い人も、すべて他人との比較だと。もし世界に自分しかいないなら、比較する他人がいないので、自分がどうなのか考えられないと気づいて、自分のことを深く考えることで自分のことを理解できるのではないと気づいたそうです。そこで「自分が分からない」というのは、自分のことばかりを考えているからだと気づいて、本の中に出て来る登場人物に触れて、その登場人物と自分を比べることによって、自分の立ち位置を決めたところ、地に足がつく感覚になって、心に力が出て来たそうです。これからも、自分のことが分からなくなって、バランスを失うかもしれないけれど、本を読む人は強いからだいじょうぶだと書いてありました。本には他人がいるけれど、そこには自分もいるのだと。（９月７日TRILLマンガ＜就活をきっかけに「自分」が分からなくなった男性→現実をシャットダウンし、すべてを手放した先で“見つけたモノ”に共感の声！＞より）

本の中の登場人物と自分を比べることによって、自分を発見して、「自分が自分で分からない」という不安を解消できたということでしょう。読書をすると、自分の世界ではない世界が広がり、そこでの出会いが、考えを変えてくれたりするのは確かです。しかし、マンガにもあったように、「これからも、自分のことが分からなくなって、バランスを失うかもしれない」という不安は残るのです。なぜなら、どんなに読書をしても、知ることができない人間の根本があるからです。それが分からないと、ほんとうの自分はわかりません。その根本を知るために、読むべきひとつの本があります。世界中で読まれ、どのベストセラーよりも売れている本。その本には、人間のほんとうの問題と、その解決が書かれていて、あなたがいったいだれなのか、はっきりと答えを出すことができます。そこで得る答えは、「また、分からなくなる」という不確かなものではなく、永遠に続く確かな答えです。そのことをいっしょに見てみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください